

令和2年度 公社等経営評価シート  
(対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日)

概 要	名称	一般財団法人宮崎県交通安全協会		所在地	宮崎市広島1丁目13番10号3F		
	電話番号	0985-35-6231		ホームページ	<a href="http://www.anzen-miyazaki.or.jp/">http://www.anzen-miyazaki.or.jp/</a>		
	設立年月日	昭和46年12月6日	代表者	会長 矢野久也	県所管部・課	警察本部交通企画課	
	総出資額	2,000千円		県出資額	0千円	県出資比率	0.0%
	設立目的	本会は、交通の危険防止のため交通道德の普及高揚を図り、もって交通秩序の確立と交通安全の実現に寄与することを目的とする。					
特記事項	道路交通法第108条の31に基づき宮崎県交通安全活動推進センターとして宮崎県公安委員会の指定を受けている。						

内容		平成30年度	令和元年度	令和2年度
①公社等のあり方見直し	法人運営の適正化	適正に事業運営を推進し、確実に公益目的支出計画を履行する。	適正に事業運営を推進し、確実に公益目的支出計画を履行する。	適正に事業運営を推進し、確実に公益目的支出計画を履行する。
②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善	継続して県下各交通安全協会での各種事業を推進する。	継続して県下各交通安全協会での各種事業を推進する。	継続して県下各交通安全協会での各種事業を推進する。
	財務改善	経営基盤の強化	更なる財政基盤の充実を図る。	更なる財政基盤の充実を図る。
	組織等適正化	適正人員配置の検討	更なる職員配置の適正を図る。	更なる職員配置の適正を図る。
③県と公社等の関係見直し	人的支援見直し			
	財政支出見直し	県財政支出割合の減少	財政支出の見直しを図る。	財政支出の更なる見直しを図る。
④情報公開推進	ホームページ等での情報公開の推進	情報公開の推進に努める。	情報公開の推進に努める。	情報公開の推進に努める。

	(人)	令和元年度				令和2年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	17	0	3	14	17	0	3	14
	常勤	2	0	2	0	2	0	2	0
	非常勤	15	0	1	14	15	0	1	14
	職員数	137	0	50	87	136	0	52	84
財政支出等	(千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	県委託料	366,427	376,610	362,859	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
その他の県からの支援等									

主な県財政支出の内容	事業名	事業内容	令和元年度	令和2年度	種別
			決算額(千円)	予算額(千円)	
①	交通安全指導員事業	交通安全教室、高齢者に対する交通安全教育、街頭指導広報活動、室内勤務、特別勤務	149,160	149,480	委託料
②	更新時講習事業	運転免許証の更新を受けようとする者又は特定失効者に対する講習(優良運転、一般講習、違反講習、初回講習、原付講習)	146,826	144,815	委託料
③	免許事務事業	免許更新予定者に対する情報提供事務、免許証交付事務、免許証再交付事務、免許証記載事項変更事務、学科試験の受付立会事務等	43,129	40,761	委託料
④	安全運転管理者等講習事業	企業の交通安全対策を管理する安全運転管理者等に対する講習	10,515	10,648	委託料
⑤	道路使用許可調査事業	道路使用許可条件の遵守状況、現状回復状況等の現地調査、是正措置	8,175	8,250	委託料

実施事業	1	交通安全広報啓発事業	2	交通安全指導員事業
	3	高齢者交通安全教育事業	4	交通安全協力隊事業
	5	運転免許関係事務事業	6	講習事業
	7	安全運転管理等講習	8	道路使用許可調査事業
	9	証紙売りさばき事業		

  

活動指標	指標名	算式(単位)	令和元年度			令和2年度	令和3年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	高齢者訪問指導数	高齢者宅を訪問して交通安全指導を行った数(人)	20,000	28,791	144.0%	20,000	20,000
②	高齢歩行者交通安全教育事業参加者数	高齢者に対する体験型交通安全教育の参加者数(人)	800	997	124.6%	800	800
③	交通安全教室参加者数	小中学校等での交通安全教室の参加者数(人)	150,000	145,181	96.8%	150,000	150,000

指標の設定に関する留意事項

財務状況	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	経常収益	572,108	565,189	582,452	資産	1,111,160	1,096,839	1,087,070
	経常費用	622,762	613,802	597,198	流動資産	419,019	420,846	432,204
	当期経常増減額	-50,654	-48,613	-14,746	固定資産	692,141	675,993	654,866
	経常外収益	24,052	23,809	22,817	負債	101,170	111,653	93,813
	経常外費用	0	0	0	流動負債	67,221	78,476	62,468
	当期経常外増減額	24,052	23,809	22,817	固定負債	33,949	33,177	31,345
	当期一般正味財産増減額	-26,602	-24,804	8,071	正味財産	1,009,990	985,186	993,257
	一般正味財産期首残高	1,034,592	1,007,990	983,186	指定正味財産	2,000	2,000	2,000
	一般正味財産期末残高	1,007,990	983,186	991,257	(うち基本財産への充当額)	2,000	2,000	2,000
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	指定正味財産期首残高	2,000	2,000	2,000	一般正味財産	1,007,990	983,186	991,257
	指定正味財産期末残高	2,000	2,000	2,000	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	正味財産期末残高	1,009,990	985,186	993,257	(うち特定資産への充当額)	352,048	336,376	324,323

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式(単位)	令和元年度			令和2年度	令和3年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	会費収入額	会費収入額(千円)	128,105	132,423	103.4%	128,105	124,262
	令和元年度 実績値の算式	132,423千円					
②	管理費比率	管理費÷経常費用×100(%)	18.0	22.3	76.1%	18.0	18.0
	令和元年度 実績値の算式	133,101千円÷597,198千円×100(%)					
③							

指標の設定に関する留意事項 加入者の減少や一定周期で運転免許更新者数の増減を勘案して目標値の補正を実施

直近の県監査の状況	
-----------	--

総合評価	<p>第10次宮崎県交通安全計画の目標達成に県所管課と連携しながら業務を推進した。今後も適正かつ効率的な業務運営の推進と会費加入促進により自主財源確保を図る。</p> <p>会社等自己評価</p>	<p>第10次宮崎県交通安全計画の目標達成に向け、県下13地区の交通安全協会と一体となり事業を推進した。経費削減に努めながら、子ども、高齢者、運転者など幅広い対象への事業により、県民の交通安全思想の高揚に効果を得ているものの、年々会員が減少傾向にあるため、事業に対する理解が得られるような取組を継続して行い、賛同する会員を確保することが必要である。</p> <p>県所管部課二次評価</p>
	<p>評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)</p> <p>改革工程 B 活動内容 B 財務内容 B 組織運営 A</p>	<p>評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)</p> <p>改革工程 B 活動内容 B 財務内容 B 組織運営 B</p>
	<p>目標達成度</p>	<p>会社等改革推進委員会三次評価</p> <p>活動内容については、広報啓発をはじめとする交通安全活動に積極的に取り組んでおり、新型コロナウイルスの影響により目標を達成できなかった指標もあるもの、おおむね目標を達成できており、評価できる。 財務内容については、会員数の減少に伴い会費収入が減少傾向にあり、また、管理費比率も目標を達成できていないことから、自己収入の確保や経費節減等に一層取り組む必要がある。 引き続き、経営基盤の強化に努めながら、高齢者事故をはじめとする交通事故の抑止のため、交通安全に関する各事業の効果的・効率的な実施が求められる。</p>